

救急、救助



平成30年度全国高等学校総合体育大会山岳競技の地元開催に備え、菰野町遭難救助隊及び四日市西警察署と合同で山岳救助訓練を実施し、事故発生時における救助活動の連携強化を図りました。

山岳救助訓練

平成30年5月15日～17日
於：菰野町地内 山間部

救 急

平成30年中の救急件数は1,607件、搬送人員は1,547人でした。1日あたり平均4.4件の出動で、町民27人に1人の割合で救急車が利用されたことになります。

救急件数を事故種別で見ると、急病が1,086件(67.6%)で最も多く、続いて一般負傷が257件(16%)、交通事故が170件(10.6%)、その他が94件(5.8%)となりました。

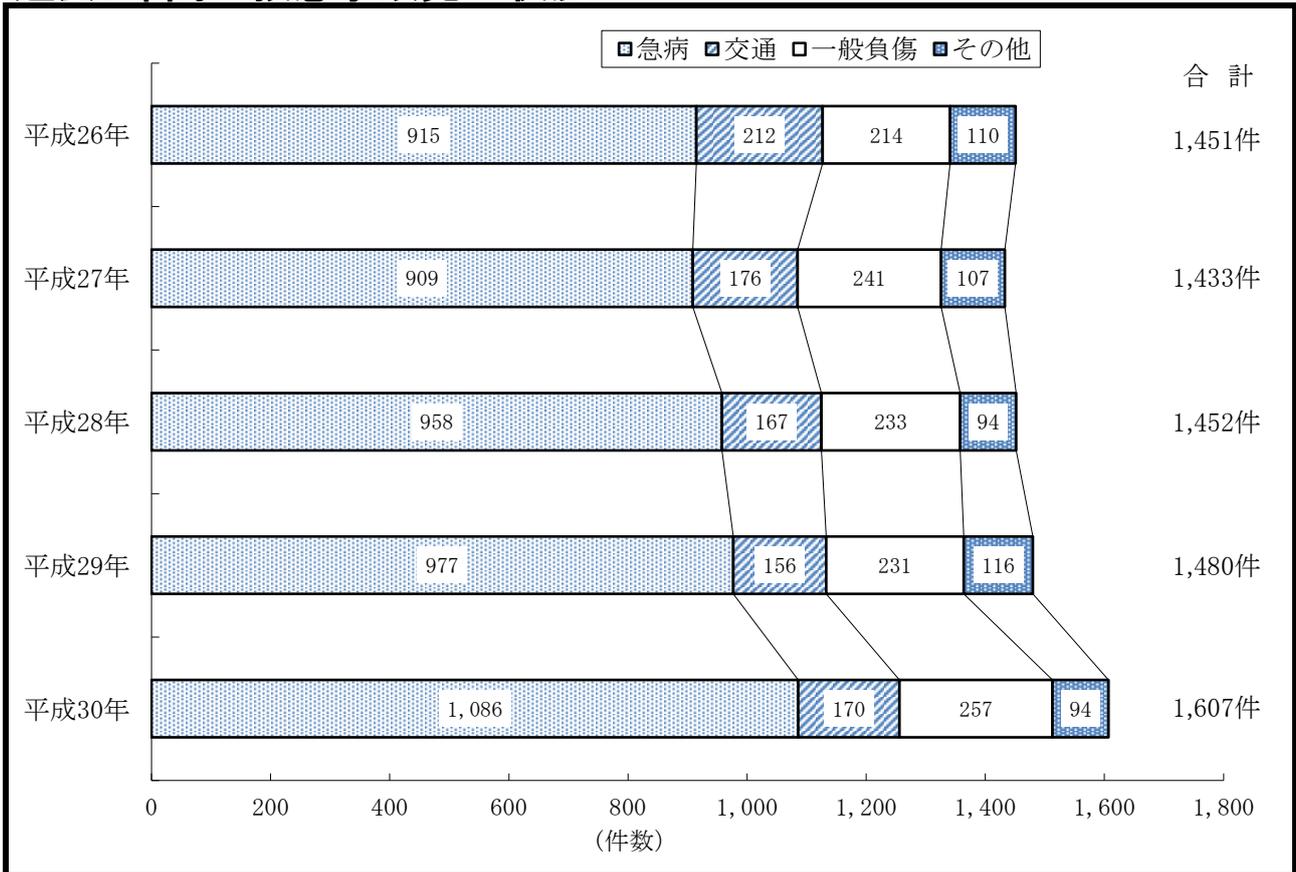
救急事故発生状況

年 別		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全 国	救急件数	5,984,921	6,054,815	6,209,964	6,342,147	
	発生率	467	477	489	499	
三 重 県	救急件数	89,277	90,593	91,492	94,160	
	発生率	481	499	504	519	
菰 野 町	救急件数	1,451	1,433	1,452	1,480	1,607
	発生率	350	345	348	354	384

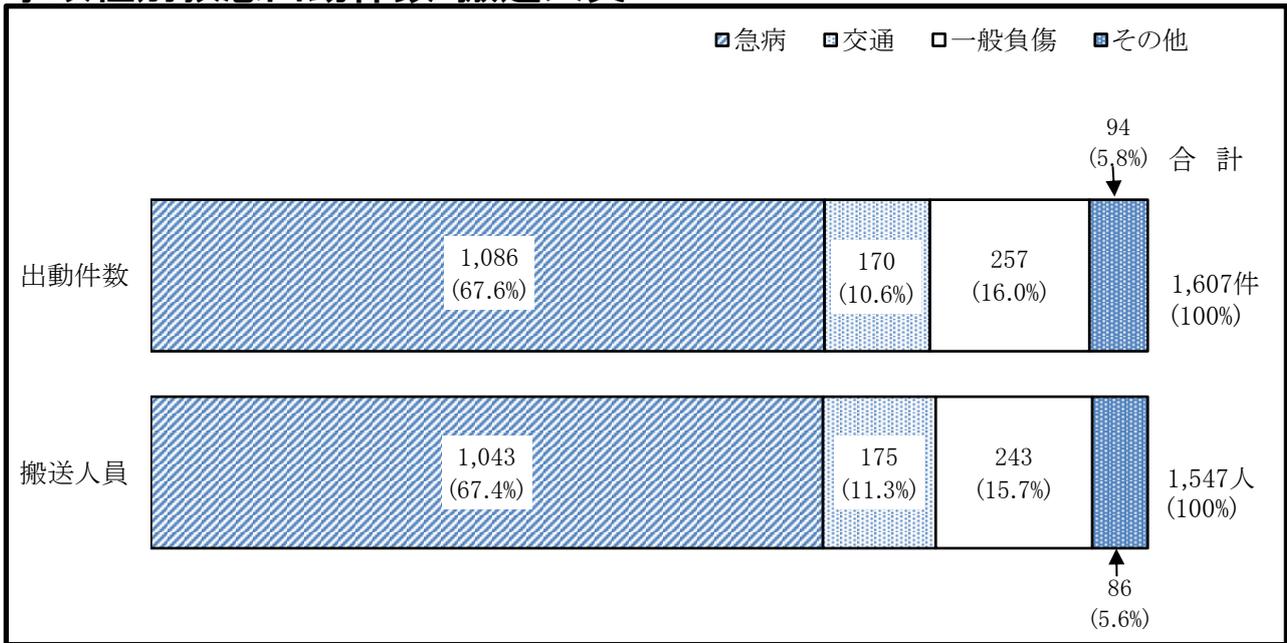
※発生率=救急件数/人口×10,000

※菰野町人口 41,854人(平成30年12月31日現在)

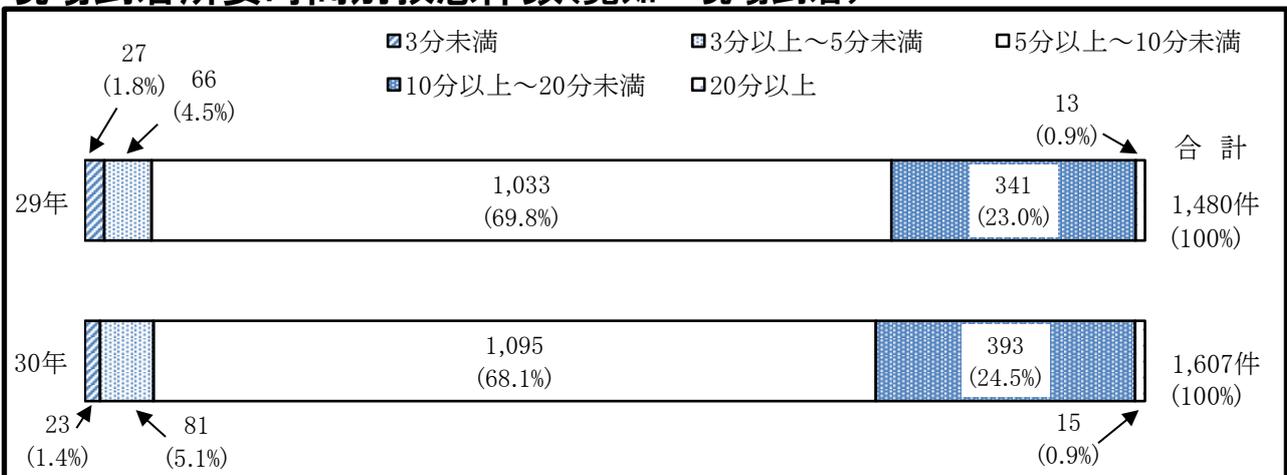
過去5年間の救急事故発生状況



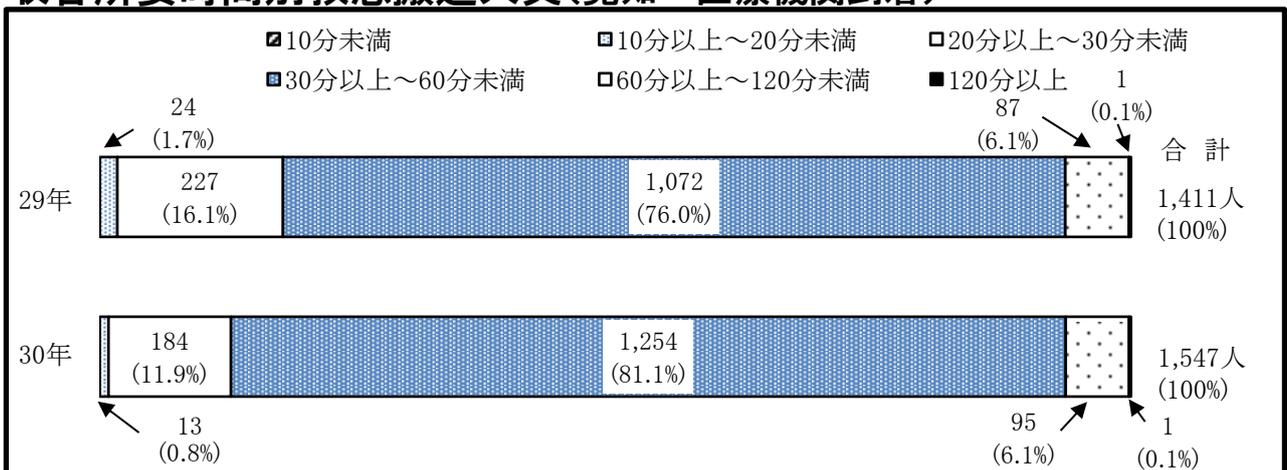
事故種別救急出動件数・搬送人員



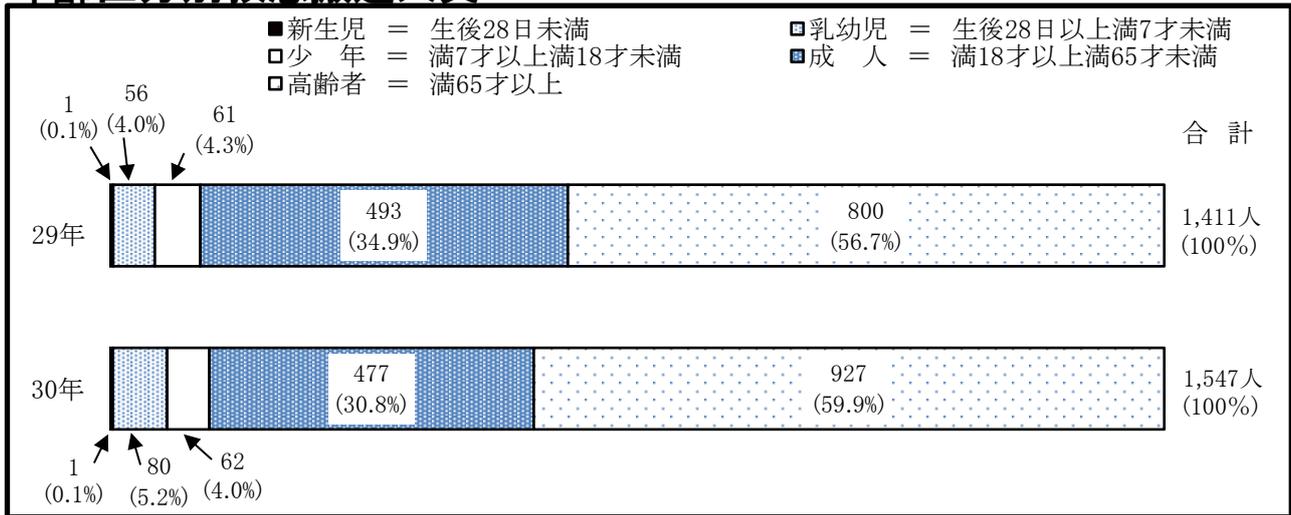
現場到着所要時間別救急件数(覚知～現場到着)



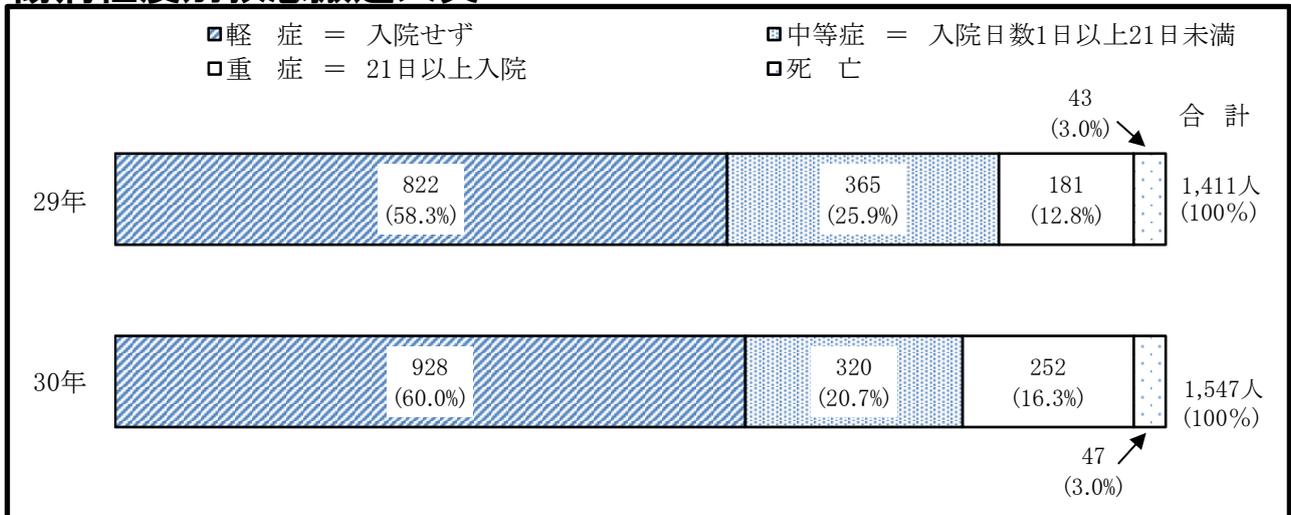
収容所要時間別救急搬送人員(覚知～医療機関到着)



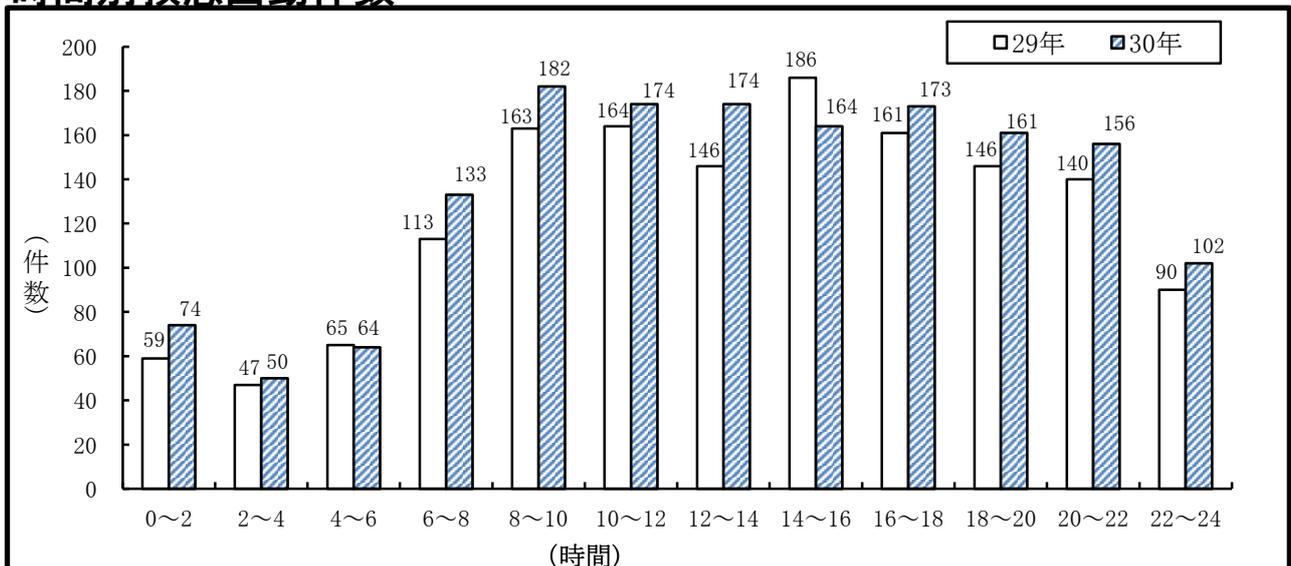
年齢区分別救急搬送人員



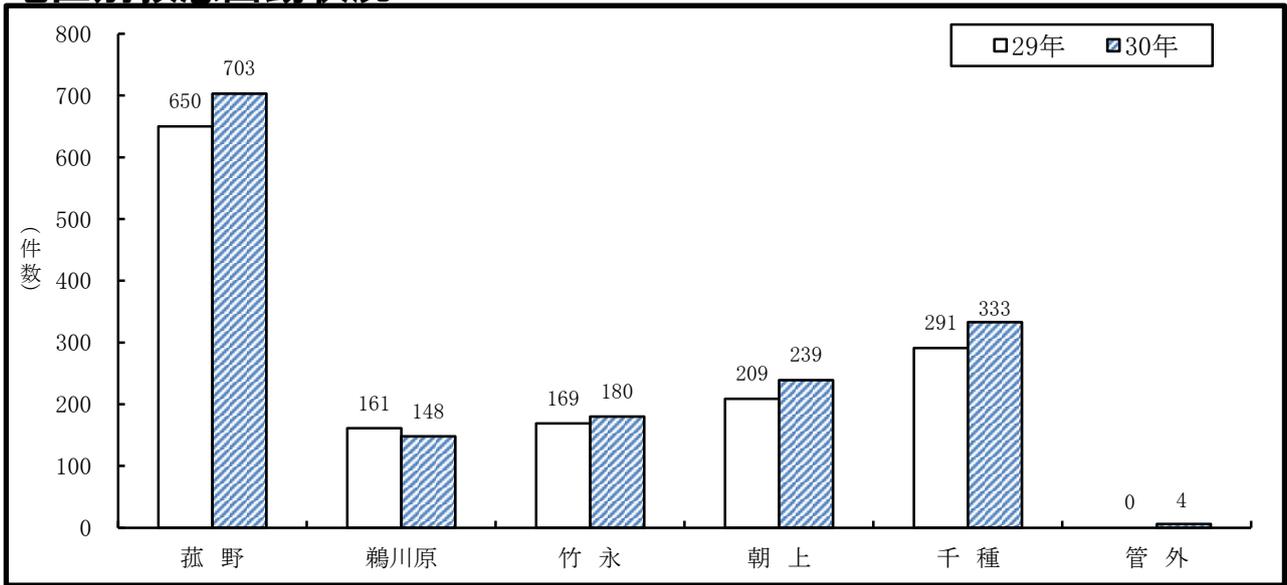
傷病程度別救急搬送人員



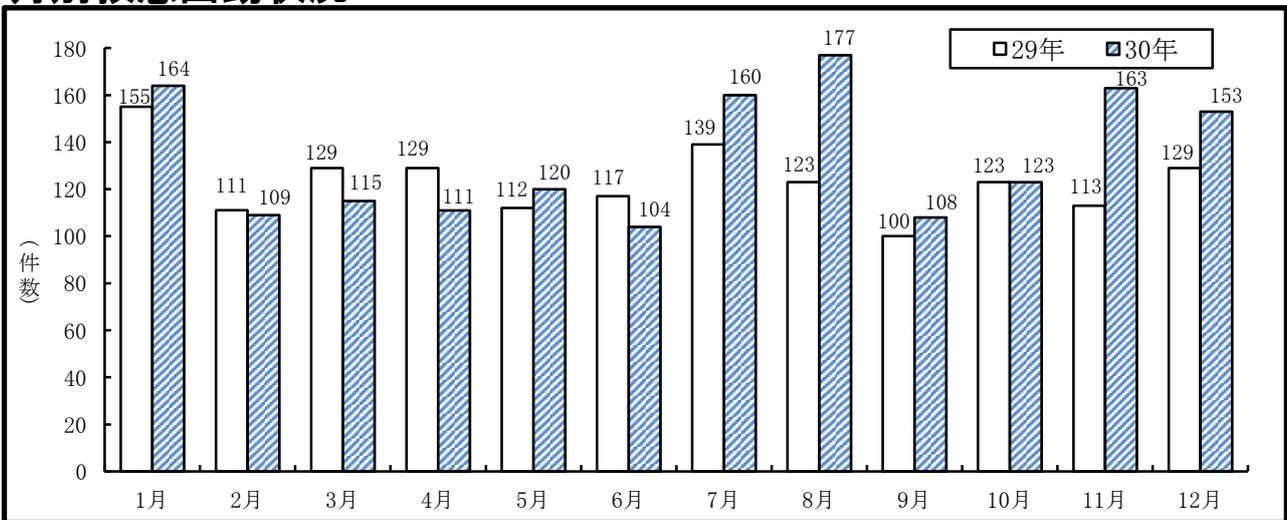
時間別救急出動件数



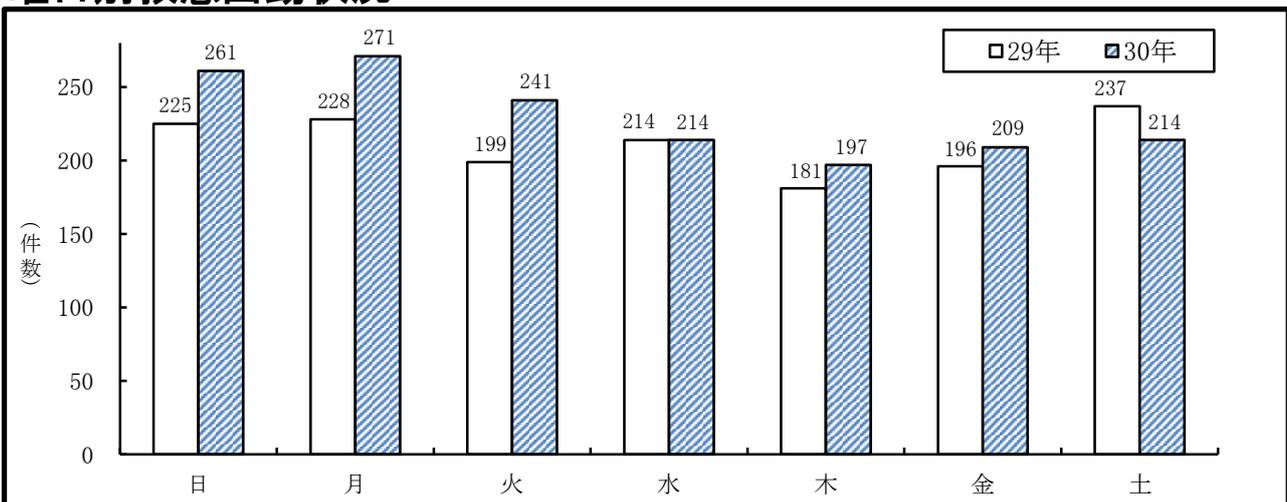
地区別救急出動状況



月別救急出動状況



曜日別救急出動状況



年齢区分別、傷病程度別救急搬送人員

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	30年 合計	29年 合計
死亡				4	43	47	43
重症		2	7	58	185	252	181
中等症	1	15	11	67	226	320	365
軽症		63	44	348	473	928	822
その他							
合計	1	80	62	477	927	1,547	1,411

事故種別、年齢区分別救急搬送人員

事故種別 年齢区分	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	30年 合計	29年 合計
新生児										1		1	1
乳幼児				7			24			49		80	56
少年				17		5	8		2	29	1	62	61
成人				103	19		51	2	11	176	15	477	493
高齢者				48	1		160		3	688	27	927	800
合計				175	20	5	243	2	16	1,043	43	1,547	1,411

事故種別、傷病程度別救急搬送人員

事故種別 傷病程度	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	30年 合計	29年 合計
死亡				1	1		1		3	41		47	43
重症				26	1		42	1	7	155	20	252	181
中等症				24	4	1	41			240	10	320	365
軽症				124	14	4	159	1	6	607	13	928	822
その他													
合計				175	20	5	243	2	16	1,043	43	1,547	1,411

事故種別、時間別救急出動件数

区分	事故種別	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	30年合計	29年合計
休日					33		3	59	1	5	241	3	345	321
休日以外の日					137	21	2	198	4	15	845	40	1,262	1,159
時間内	0～2				3			10			59	2	74	59
	2～4				3			3			44		50	47
	4～6				1			7		1	55		64	65
	6～8				21	1	1	12		2	96		133	113
	8～10				31	4		25	1	1	119	1	182	163
	10～12				19	7		36		2	100	10	174	164
	12～14				12	2		31		1	115	13	174	146
	14～16				15	3	3	37		5	98	3	164	186
	16～18				36	2	1	34		1	90	9	173	161
	18～20				17	1		22		3	114	4	161	146
	20～22				8	1		31	1	1	113	1	156	140
22～24				4			9	3	3	83		102	90	
30年計				170	21	5	257	5	20	1,086	43	1,607		
29年計		2		1	156	27	10	231	3	7	977	66		1,480

事故種別、応急処置件数

事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
止血	9	30	68	13	120
固定	16	139	109	17	281
人工呼吸	4			1	5
心肺蘇生	46	2	2	4	54
酸素吸入	292	26	15	18	351
気道確保	70	2	4	7	83
気道確保（特定行為）	2				2
保温	534	78	120	40	772
被覆	9	35	59	14	117
除細動	3	1			4
静脈路確保	38	3	1		42
薬剤投与	23	1	1		25
ブドウ糖投与	4				4
その他	3,520	535	666	269	4,990
合計	4,570	852	1,045	383	6,850

※人工呼吸は単独で行った場合のみ計上。その他は血圧、血中酸素飽和度の測定、聴診器による呼吸音聴取等。

事故種別、医療機関別救急搬送人員

告示別等	事故種別		急病		交通		一般負傷		その他		30年合計		29年合計	
	開設別		うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外	うち	管外
救急告示医療機関	国立						1	1			1	1	4	4
	公立		667	667	94	94	148	148	62	62	971	971	764	764
	公的		311	62	66	25	85	38	23	13	485	138	546	115
	私的	病院	57	57	15	15	8	8	1	1	81	81	76	72
		診療所												
	計		1,035	786	175	134	242	195	86	76	1,538	1,191	1,390	955
その他の医療機関	国立		1	1							1	1		
	公立													
	公的												1	1
	私的	病院	2	2							2	2	11	11
		診療所	5	3			1				6	3	9	7
	計		8	6			1				9	6	21	19
計	国立		1	1			1	1			2	2	4	4
	公立		667	667	94	94	148	148	62	62	971	971	764	764
	公的		311	62	66	25	85	38	23	13	485	138	547	116
	私的	病院	59	59	15	15	8	8	1	1	83	83	87	83
		診療所	5	3			1				6	3	9	7
	計		1,043	792	175	134	243	195	86	76	1,547	1,197	1,411	974
その他の場所	接骨院等													
	その他													
	計													
30年計			1,043	792	175	134	243	195	86	76	1,547	1,197		
29年計			920	624	157	111	223	147	111	92			1,411	974

救助出動状況

平成30年中は、34件の救助出動がありました。当町は面積の約3分の1が山岳地帯で多数の登山者が入山することから山岳救助事案が多く発生しています。（山岳救助件数17件）

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
1	交 通	1月 12日 (金) 10時58分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
2	交 通	1月 19日 (金) 8時32分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
3	その他 (山岳)	2月 3日 (土) 16時50分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
4	その他 (山岳)	2月 26日 (月) 16時24分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
5	交 通	4月 4日 (水) 16時08分	鵜川原 (諏 訪)	報 知 電 話	
6	その他 (山岳)	4月 21日 (土) 16時10分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
7	その他 (山岳)	4月 22日 (日) 22時20分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
8	その他 (山岳)	4月 28日 (土) 11時53分	菰 野 (湯の山)	報 知 電 話	
9	交 通	4月 29日 (日) 8時26分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
10	交 通	5月 14日 (月) 6時58分	鵜川原 (吉 沢)	報 知 電 話	
11	その他	5月 22日 (火) 15時19分	朝 上 (田口新田)	報 知 電 話	
12	その他	6月 2日 (土) 12時40分	朝 上 (杉 谷)	報 知 電 話	
13	建 物	6月 3日 (日) 12時29分	菰 野 (宿 野)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)

加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急3号車	4 3 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	救助工作車 救急1号車	4 4	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	広報車	4	御在所岳藤内壁をアイスクライミング中に滑落した	介添え搬送及び背負い搬送にて登山口まで救出した
	広報車	4	雲母峰を下山中に足がつって動けない状態になった	要救助者は自力で東海自然歩道まで下山済みであった為、警察隊に引き継いだ
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から2名が脱出困難となった	救急隊及び消防隊と協力して車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳表道を下山中に滑落した	介添え搬送にてピックアップポイントまで搬送し、三重県防災航空隊によりヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した
	広報車	4	鎌ヶ岳から武平峠へ下山中に脱水症状で動けない状態となった	要救助者は自力で登山口まで下山済みであった為、甲賀消防救急隊に引き継いだ
	広報車	4	御在所岳中道を登山中に心肺停止状態となった	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 救急2号車	4 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
	救助工作車 救急2号車	3 3	救急要請のあった傷病者が暴れており、活動危険がある	救急隊から救助隊の必要性なしの連絡があった為、途中帰署した
	救助工作車 救急1号車	4 3	作業中、沢の傍らの斜面で持病により動けない状態となった	救急隊と協力して徒手搬送にて平坦な場所まで救出した
	救助工作車 救急1号車	4 3	店舗出入口のドアに指を挟まれ、解放できない	救急隊から救助隊の必要性なしの連絡があった為、途中帰署した

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
14	その他 (山岳)	6月 8日 (金) 18時59分	菰野 (湯の山)	加入電話	
15	交通	6月 9日 (土) 7時02分	朝上 (田光)	報知電話	
16	交通	6月 12日 (火) 7時58分	鵜川原 (川北)	報知電話	
17	その他 (山岳)	6月 12日 (火) 13時53分	菰野 (湯の山)	報知電話	
18	その他 (山岳)	6月 17日 (日) 15時14分	朝上 (杉谷)	加入電話	
19	その他 (山岳)	7月 21日 (土) 18時27分	菰野 (湯の山)	報知電話	
20	交通	8月 8日 (水) 17時49分	菰野 (菰野第二区)	報知電話	
21	その他 (山岳)	8月 20日 (月) 13時30分	菰野 (湯の山)	加入電話	
22	交通	9月 11日 (火) 17時40分	千種 (潤田)	加入電話	
23	その他 (山岳)	10月 10日 (水) 15時38分	千種 (千草)	加入電話	
24	その他 (山岳)	10月 11日 (木) 5時35分	管外 (滋賀県東近江市)	加入電話	
25	交通	10月 17日 (水) 22時06分	鵜川原 (下村)	加入電話	
26	その他 (山岳)	10月 21日 (日) 12時54分	菰野 (湯の山)	加入電話	
27	その他 (山岳)	10月 22日 (月) 8時03分	菰野 (湯の山)	報知電話	

※ 報知電話 = 119番 (携帯電話等含む)
 加入電話 = 一般加入電話

出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
広報車	4	鎌ヶ岳長石谷を下山中に疲労で動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
救助工作車 救急2号車 救急3号車	3 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊と協力して車外に救出した
救助工作車 救急1号車	4 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	既に車外に脱出済みであった
広報車	4	御在所岳裏道を下山中に全身の痺れで動けない状態となった	自力歩行可能であったため、誘導により登山口まで救出した
広報車	4	釈迦ヶ岳岩ヶ峰登山道で滑落した	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
広報車 救急1号車	2 3	日向小屋にて腹痛で動けない状態となった	救急隊と協力して担架収容し、救急車まで搬送した
救助工作車 救急1号車	4 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	先着していた救急隊により車外に救出した
広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道を下山中に滑落した	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
救助工作車 救急2号車 救急3号車	2 3 3	自動車同士の衝突事故、傷病者が車内から脱出困難となった	先着していた救急隊により車外に救出した
指揮車 広報車	3 4	釈迦ヶ岳尾根道白滝谷分岐付近で遭難した	捜索したが要救助者を発見できなかった(翌日朝から再捜索)
広報車	4	釈迦ヶ岳白滝谷分岐付近で遭難し、衰弱により動けない状態となった(昨日からの再捜索)	滋賀県東近江消防及び警察隊と合同捜索し、発見後、三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
救助工作車 ポンプ車 救急1号車 救急2号車	3 2 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から1名が脱出困難となった	救急隊及び消防隊と協力してバックボードに固定し車外に救出した
広報車	4	御在所岳藤内壁をクライミング中に首を負傷し、動けない状態となった	山岳連盟と協力して担架でピックアップポイントまで搬送し、三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
広報車	4	御在所岳武平峠付近で遭難し、衰弱により動けない状態となった	三重県防災航空隊と協力して救出し、ヘリコプターで三滝川河川敷へ搬送した

救助出動状況

番号	事故種別	覚 知 日 時	発 生 場 所(区)	※覚 知 別	
28	その他 (山岳)	10月 28日 (日) 9時41分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
29	その他 (山岳)	10月 28日 (日) 11時34分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
30	交 通	11月 1日 (木) 18時38分	千 種 (千 草)	報 知 電 話	
31	その他 (山岳)	11月 4日 (日) 7時44分	菰 野 (湯の山)	加 入 電 話	
32	交 通	11月 25日 (日) 8時51分	千 種 (潤 田)	報 知 電 話	
33	建 物	11月 25日 (日) 22時20分	菰 野 (菰野第三区)	報 知 電 話	
34	交 通	12月 29日 (土) 10時26分	鶺川原 (下 村)	報 知 電 話	

※ 報 知 電 話 = 119番 (携帯電話等含む)
 加 入 電 話 = 一般加入電話

	出場車両	人員	事故概要等	救助概要等
	広報車	4	釈迦ヶ岳庵座谷を登山中に滑落した	担架でピックアップポイントまで搬送し、三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	広報車	4	釈迦ヶ岳中尾根を登山中に滑落した	三重県防災航空隊によりヘリコプターで県立総合医療センターへ搬送した
	救助工作車 救急1号車 救急2号車	4 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から3名が脱出困難となった	救急隊と協力してバックボードに固定し1名、自力歩行にて2名車外に救出した
	広報車 救急1号車	4 3	御在所岳裏道を下山中に左足首を捻り、動けない状態となった	介添え搬送にて登山口まで救出した
	救助工作車 救急2号車 救急3号車	2 3 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から2名が脱出困難となった	バックボードに固定し1名、自力歩行にて1名車外に救出した
	救助工作車 救急2号車	2 3	浴室の扉が開かず、閉じ込められている	扉を破壊して救出した
	救助工作車 ポンプ車 救急1号車	3 2 3	自動車同士の衝突事故、事故車両1台から2名が脱出困難となった	バックボードに固定し1名、自力歩行にて1名車外に救出した

事故種別出動件数・救助人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	30 年 合 計	29 年 合 計
	建 物	他										
出 動 件 数			13				2			19	34	39
救 助 人 員			17				1			15	31	24

※管轄外の出動件数含む

事故種別、救助出動人員

種別 区分	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	30 年 合 計	29 年 合 計
	建 物	他										
救 助 隊 員			43				6			76	125	186
消 防 隊 員			11								11	7
救 急 隊 員			58				6			18	82	55
合 計			112				12			94	218	248

事故種別、救助出動車両

種別 車両	火 災		交 通 事 故	水 事 難 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	爆 発 事 故	そ の 他 の 事 故	30 年 合 計	29 年 合 計
	建 物	他										
救 助 工 作 車			13				2			2	17	15
タ ン ク 車												
ポ ン プ 車			5								5	5
救 急 車			19				2			6	27	23
指 揮 車										1	1	
広 報 車										17	17	23
資 機 材 搬 送 車												3
そ の 他 の 車 両												3
合 計			37				4			26	67	72

※その他の車両とは、査察車と防災広報車